

人口	7,915人(4月1日現在)
世帯数	2,661世帯(4月1日現在)
面積	32km ²
町の木	モクセイ
町の花	コスモス
町の鳥	ウグイス

しもふさまち
下総町
SHIMOFUSA



下総町・大栄町



利根の流れと北総台地にはぐくまれたまち

昨年から合併協議を進めてきた成田市と下総町・大栄町は、3月15日に合併協定調印式、4月12日には千葉県知事から合併決定書が交付され、平成18年3月27日の「新成田市誕生」に向け新たなスタートを切りました。そこで、本号から両町の特色や見所などを紹介する「どんなまち。下総町・大栄町」を11回にわたって掲載します。



こだわりの一品「レンコン」は町の特産品



訪れる人が絶えない龍正院



フレンドリーパーク下総で開催される納涼まつり

昭和30年2月に滑河町・高岡村・小御門村の3町村が合併し下総町が誕生しました。関東地方で唯一の奈良時代の旧国名を自治体名にもち、利根川に育まれた豊かな水田と緑豊かな自然環境に包まれた町です。

特産品は、利根川流域で栽培されるレンコン、スイカやメロンなどのハウス園芸も盛んです。高岡地区にある「フレンドリーパーク下総」は、サイクルロード・野球場・テニスコート・運動広場・キャンプ場や歴史民俗資料館などを備えた複合施設で、スポーツ・レクリエーション・文化の拠点として町内外から利用されています。

町の見所は、房総の魅力500選にも選ばれ、仁王門が国の重要文化財に指定されている龍正院(滑河観音)、建武中興に功績のあった藤原師賢を祭神とする小御門神社、有名な国定忠治の子分、板割浅太郎ゆかりの寺として知られる乗願寺などがあり、数多くの寺院や神社が昔の面影を残しています。

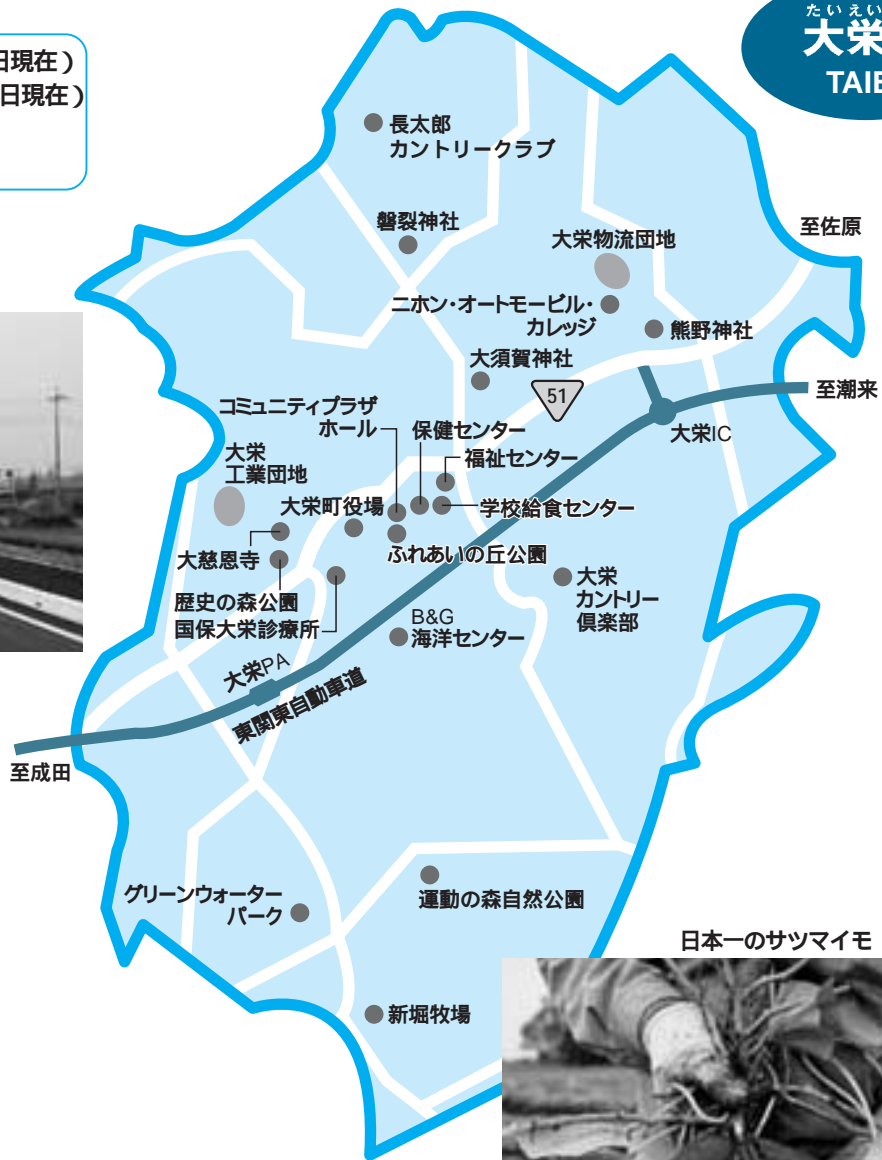
また、観光事業の一環として整備された、「しもふさ七福めぐり」、首都圏自然歩道「関東ふれあいの道」など、歴史散歩にも最適で、季節の彩りがあふれる訪れる人々を楽しませてくれます。

たいえいまち
大栄町
TAIEI

人口 12,504人(4月1日現在)
世帯数 3,981世帯(4月1日現在)
面積 50.57km²
町の木 さざんか



現在分譲中の大栄物流団地



日本一のサツマイモ「大栄愛娘」



地道な努力で復活した伊能歌舞伎。
演目は白浪五人男



昭和30年4月に大須賀村と昭栄村の2村が合併し誕生した町です。町の中央部を東関東自動車道、その北側を国道51号が東西に横断し、南西端は成田国際空港と接しています。

豊かな台地と自然に恵まれた大栄町の主産業は農業です。中でもサツマイモは、生産額・作付面積ともに全国トップクラス。品質と味の良さは各市場から高い評価を受けています。11月下旬に開催される町最大のイベント「ふるさとふれあいまつり」と同時に開催される、日本一のいも掘り広場には行列ができるほどのにぎわいです。また、2・7haの広大な敷地をもつグリーンウォーターパークは、花や魚釣り、バーベキューが楽しめる憩いの場所です。

伝統芸能といえば伊能歌舞伎。大須賀大神の春の例大祭に奉納されるもので、起源は江戸時代にさかのぼります。県内に残る数少ない農村歌舞伎として有名です。いったんは途絶えましたが住民の熱意で平成11年に復活を遂げ、今では町外からも公演依頼がくるほど好評です。

肥沃な台地を利用した農業振興が図られる一方、成田国際空港に隣接しているため、工業団地や物流団地の整備、広域交通網の利便性を活かしたまちづくりが展開されています。

